

製品名: NOS3 (リン酸化 Ser615) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05123**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	130-140kDa

抗原情報

遺伝子名	NOS3
別名	NOS3; Nitric oxide synthase; endothelial; Constitutive NOS; cNOS; EC-NOS; Endothelial NOS; eNOS; NOS type III; NOSIII
遺伝子 ID	4846.0
SwissProt ID	P29474
免疫原	抗血清は、Ser615 のリン酸化部位周辺のヒト eNOS 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 581-630

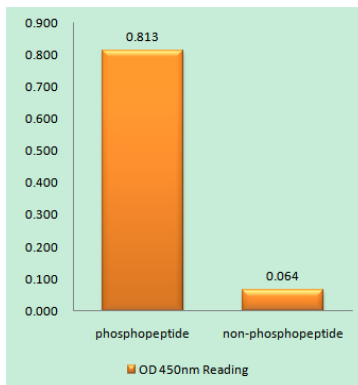
背景

一酸化窒素は、神経伝達、抗菌作用、抗腫瘍作用など、様々なプロセスにおいて生物学的メディエーターとして作用する反応性フリーラジカルです。一酸化窒素は、一酸化窒素合成酵素によってL-アルギニンから合成されます。この遺伝子の変異は、冠動脈痙攣の感受性と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2009年5月]触媒活性: $L\text{-アルギニン} + n\text{NADPH} + n\text{H}^+ + m\text{O}_2 = \text{シトルリン} + \text{一酸化窒素} + n\text{NADP}^+$, 補因子: 1つのFADと結合します。補因子: 1つのFMNと結合します。補因子: ヘム基, 補因子: テトラヒドロビオプテリン (BH4)。酵素の二量体形態を安定化させる可能性があります。酵素調節: カルシウム/カルモジュリンによって刺激されます。NOSIP および NOSTRIN によって阻害されます。機能: cGMP を介したシグナル伝達経路を介して血管平滑筋の弛緩に関係する一酸化窒素 (NO) を生成します。NO は、冠状血管において血管内皮増殖因子 (VEGF) 誘導性血管新生を媒介し、血小板の活性化を介して血液凝固を促進します。オンライン情報: 一酸化窒素合成酵素エントリ, 多型: NOS3 の変異は、冠動脈けいれんに対する感受性と関連しているようです。類似性: NOS ファミリーに属します。類似性: 1つのFAD 結合FR 型ドメインを含みます。類似性: 1つのフラボドキン様ドメインを含みます。細胞内位置: 細胞周期のG2 期にアクチン細胞骨格と特異的に関連します。これは NOSIP との相互作用によって促進され、酵素活性の低下をもたらします。サブユニット: ホモ二量体。NOSIP および NOSTRIN と相互作用します。組織特異性: 血小板、胎盤、肝臓および腎臓。

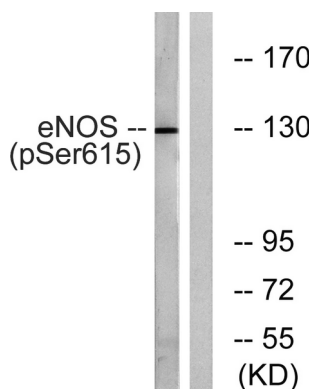
研究分野

血管新生を調節する; AMPK; Akt_PKB; タンパク質アセチル化

画像データ



eNOS (リン酸化 Ser615) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



EGF 40nM 30%で処理した K562 細胞のライセートを eNOS (リン酸化 Ser615) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。